

SNS を活用した地区社協活動について

①新川北部地区社会福祉協議会（流山市）

人口・高齢化率：5,764人・31.6%

圏 域：西深井小学校圏域

構 成 人 数：約40名（ボランティアを含む）

※元々は民生委員が主なメンバー

1 SNS 活用内容	あつまれ西深井の森（通称：あつにし）のイベント告知。 （子ども食堂等）
2 活用媒体	①LINE ②Instagram ③エックス（ツイッター）
3 きっかけ	子ども食堂を始めるにあたり、副会長の娘さん（当時：高校生）とその友人が手伝ってくれホームページを開設、同時にSNSも開設。
4 開設理由	子ども食堂を立ち上げたいという思いから、子どもたちが考えた。（その年代の子にとって、広報媒体＝SNS）
5 開始時期	令和3年3月頃から（あつにしをやる決めたその日）
6 どこで	役員宅
7 どのように	子どもたちが中心となり、やりたい活動を実施。地域の大人たちはそれを温かく応援するというスタンスであった。子どもたちものびのび企画・運営に携わってくれた。
8 誰が	地区社協役員とそのお子さん
9 更新手続き	当時は、高校生2人が行っていたが、今は卒業してしまったので、地区社協の役員で行っている。
10 立上げ経費	0円
11 継続経費	0円
12 その他	あつにしんぶん（あつもりの機関紙）にQRコードを掲載。

流山市発! 地区社協が運営する こども食堂 「みんなの食堂【あつまれ 西深井の森】」

新川北部地区社協が運営する「みんなの食堂【あつまれ 西深井の森】(通称あつにし)」は、流山市で13番目となる子ども食堂です。毎月開催しているフードパントリー®イベントの会場となった西深井福祉会館へ伺い、同社協の高橋洋会長と矢口輝美副会長にこの取り組みについて取材しました。

※食品を無料で提供する支援活動

地域の誰もが参加できる 「みんなの食堂」

「あつにし」がスタートしたのは2021年の5月。それまでの新川北部地区社協の事業は主に高齢者を対象とするものでしたが、高橋会長と矢口副会長は以前から、未来ある子どもたちのための事業をしたいと話合っていました。その熱意を形にした活動が「あつにし」です。

同社協の理事をはじめ、地域のみなさんや中高生ボランティア等、幅広い年代がこの活動に取り組んでいます。

市内に16箇所ある子ども食堂のなかで、地区社協の事業として行っているのは「あつにし」だけです。地区社協が運営することで、地域の民生委員児童委員や自治会役員、地域のボランティアが直接関わり、連携して様々な機関に迅速に繋がることができます。また、地域のみなさんから信頼されていることで協力もスムーズに得られます。

高橋会長は「子どものみならず、地域のみなさんのための『みんなの食堂』です。この活動を通して、地域の課題に対していろいろなことができるようになりました」と語ります。



新川北部地区社会福祉協議会
会長 高橋 洋さん

新川北部地区社会福祉協議会
副会長 矢口 輝美さん



民生委員児童委員や自治会役員からなる理事会では、活発な意見交換が行われています。

「あつにし」で育まれる 支え合いの種

「あつにし」を立ち上げる際は、当時高校生だった矢口副会長のお子さんとその友人が名称を考え、ホームページを開発しました。今も情報発信を担うのは、中高生ボランティアです。機関紙「あつにしんぶん」の企画・取材・制作・発行まで行い、SNS等の更新も手がけています。

様々なイベントに出店する際の企画や運営も、子どもたちの学習支援として主催する「宿題を終わらせようプロジェクト」の指導係も、主体は中高生ボランティア。これまでおよそ20～30人の学生が参加して、活動を推進してきました。「イベントの開催日が決まったら、グループLINEで参加者を募ります。来られる人は来てね、という声かけに毎回誰かが参加してくれます」と矢口副会長。

イベントに訪れていた小学生が、中学生になったら自分もやりたいと手を挙げてくれたり、「あつにし」で活動していた高校生が大学生になり、転居先の地域の子ども食堂でボランティアをしたりと、この活動で育まれた支援の種が、未来に向けて豊かに育まれています。



学習支援「宿題を終わらせようプロジェクト」活動をするというより「宿題のことがわかる」とりどりの質問を繰り返しています。



チャリティーキッズカット。美容師さんが約1500円でカット。取手金も「あつにし」の活動に回されます。

様々な人が触れ合う、 地域を見守る拠点として

「あつにし」がスタートして1年以上が過ぎ、矢口副会長は「ずっと今日まで走りながら、次々という人方にご協力いただけてやってこれたという感じです」と振り返ります。また、「あつにし」があることで、地域のみなさんが支援したいという気持ちを行動に移すことが出来るようになったとも感じています。

「チャリティーキッズカット」を主催してくれる美容室さん、お弁当やお米を寄付してくれる飲食店さんや農家さん等、たくさんの方が差し伸べられています。

地域の意識も少しずつ変わってきました。困っていても声をあげられない人に対して、周囲の誰かがちょっとした様子の変化に気づくことで、支援機関へその声を届けられるようになってきました。

「活動しながら私たちも学んでいます。『あつにし』が地域にとってなくてはならない活動になればと思っています」と高橋会長。矢口副会長も「何かあったときに、ここがあるよ、という場所にしていきたい」と想いを語ります。これからも「あつにし」は支援の輪を広げ、地域を見守り多世代が交流する拠点となることでしょう。



みんな笑顔になって帰ってくるのがうれしいです。
花屋さん

この活動を下の世代に引き継いでいきたいと思います。
矢口さん

地域の方と交流できて楽しいです。
福手さん

学生ボランティアのみなさん



いつも利用していて、子どもたちも楽しみにしています!



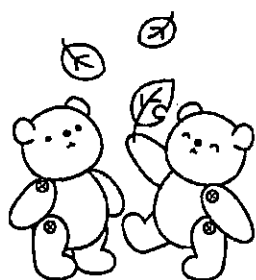
フードパントリーの様子。この日は近隣企業から寄付された洋服も配付しており、子ども達は楽しそうに選んでいました。

あつにしんぶん

第1号（令和3年11月）

発行：新川北部地区社会福祉協議会/
みんなの食堂【あつまれ西深井の森】新聞部

問い合わせ：矢口輝美
(04-7156-0721)



西深井では、流山市内で13番目となるこども食堂、みんなの食堂【あつまれ西深井の森】を5月にスタートしました。【あつまれ西深井の森】→略して【あつにし】！新川北部地区社会福祉協議会の皆さんを中心に、中高生ボランティアがお手伝いしながらこの活動を行っています。そしてこの活動を皆さんにお伝えするため、「あつにしんぶん」を発行することにしました。ボランティアメンバーの東深井中学校1年生チームが新聞部として作成します。よろしくお願いします！！

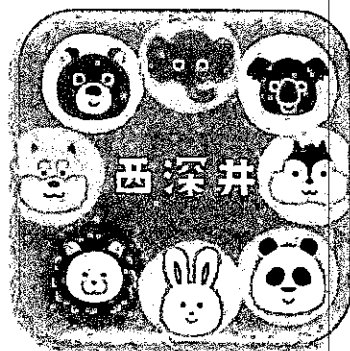
みんなの食堂では、食材やお弁当を配布する他、毎回お楽しみイベントを企画しています。

これまでやったイベントは…

- ☆スライムづくり
- ☆風車づくり
- ☆夏祭り
- ☆紙皿コマづくり
- ☆ハロウィン巨大アート など



みんなで作成した作品は、運河駅のギャラリーに展示されることもあります！これからも、子どもたちに楽しんでもらえる企画を考えていくので、たくさんの方に参加してもらえると嬉しいです。



みんなの食堂に遊びに来てね！！

★日にち…毎月第2月曜日

♪詳しくはこちらから♪

★時間…17時30分～18時30分

★場所…西深井福祉会館



子どもも大人も大歓迎！！

あつにしのイチオシ★コーナー！！ ～^{モイ}Moiさんクレープ編～

みなさんは、「ごはん cafe Moi」さんを知っていますか？江戸川台駅西口の、スーパーマーケット「トップ」さんの向かいにあるお店です。あつにしのボランティアスタッフに、クレープ券をプレゼントしてくれました。そこでさっそく私たちは Moi さんに行ってクレープをいただいて来ました！



マスカット→生地がモチモチでとても美味しく、大粒のシャイン

マスカットが乗っていて、さっぱりとした味わいでした。

チョコバナナ→バナナ一つが大きく食べごたえがあって、

滑らかなチョコとよく合いました。

他にも、メロンチョコクリーム、ハニークリームチーズ、ブルーベリークリーム、本日のおかずクレープなどもあるようです。みなさんも、ぜひ焼き立てクレープを食べてみてください！！

お店には無農薬のとれたて野菜や、ドライフラワーを使った小物などの手作り雑貨も販売されていました。

「Moi」とはフィンランド語で「やあ」という意味で、家庭的な親しみやすさを表しているようです。「みんなの食堂」も、そんな雰囲気を目指していきたいです。



ボランティア募集中！！

お手伝いをしてくれる中高大生ボランティアを募集しています。

【活動内容】 ・「みんなの食堂」のイベントの企画と準備&当日のお手伝いをする。

・「宿題を終わらせようプロジェクト」(毎月第3土曜日、小中学生の勉強会)のお手伝いをする。

【ボランティアスタッフの感想】

- ・小さい子から年上の人までたくさんの世代の人と交流ができ、言葉遣いやボランティア活動のやりがいなどを学ぶことができました。
- ・素敵な経験ができました。これからも色々な人と関わっていきたいです。

子どもが好きな人、ボランティア活動に興味がある人、または、人と関わることに苦手意識がある人も・・・どんな方でも大歓迎！！！！

みんなで支え合いながらやっています。

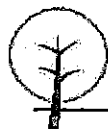
興味のある方はご連絡ください。



あつにしんぶん

第16号 (令和6年6月)

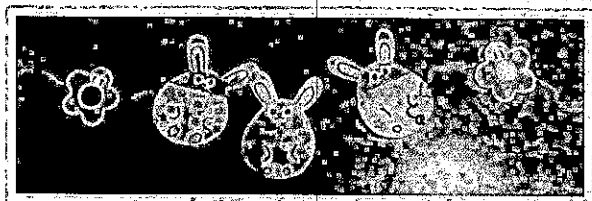
発行：新川北部地区社会福祉協議会/
みんなの食堂【あつまれ西深井の森】新聞部
問い合わせ：戸田 (090-5795-0182)



みんなの食堂

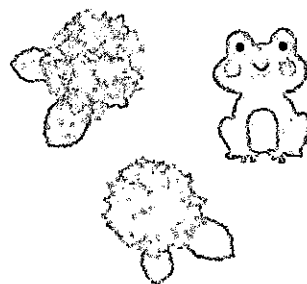
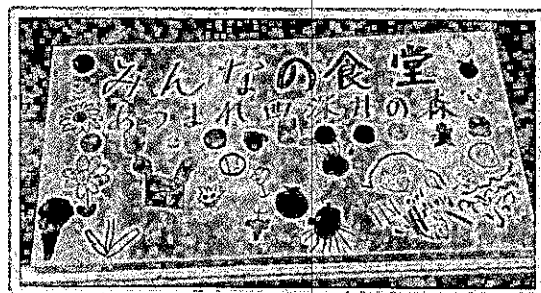


3月:イースターのガーランドを作ろう!



イースターのエッグガーランドを作りました。たまごの模様、花の色など好きなものを選んで、自分だけのオリジナルガーランドが完成★
大手スーパーからの食材提供も盛りだくさんで、みんな両手いっぱいにお土産をかかえて帰っていきました(^^♪

4月:看板を作ろう!



4月のみんなの食堂では看板を作りました。板の看板に、お気に入りのキャラクターや、可愛い絵を描いてくれました。まだまだ描きたいと、とても集中していました。色鮮やかな素敵な作品が出来上がりました。5月よりみんなの食堂の受付に掲げさせていただきます。



書道教室のご案内

令和6年度も開催中!

主催：新川北部地区社会福祉協議会

対象：児童から大人まで

日時：毎月1回(日曜日) 9:30-11:00

6/16 7/28 8/18 9/29 10/27

11/17 12/15 1/19 2/16 3/16

※8月は日にちが変更されています!

場所：西深井福祉会館

費用：無料

申し込み・問い合わせ：TEL&FAX

04-7153-5917 (藤田壽樹)



◆お知らせ◆

【あつにし】からの情報発信や、皆さんからのお問い合わせ・お申し込み等は、公式LINEを利用することになりました。
また、Instagramも開設していますので、こちらもお覧ください。ご登録お願いいたします。

【あつまれ西深井の森】

公式LINE



Instagram



@ATSUNISHI



学習支援

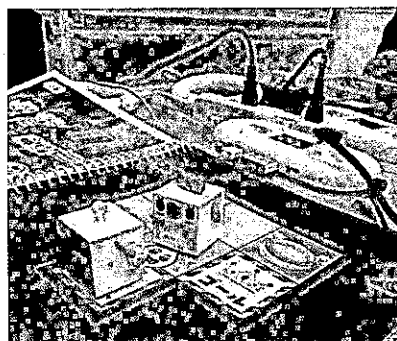
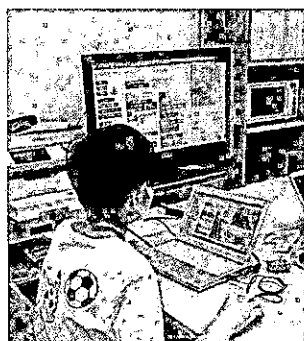


プログラミングの世界を体験！ 5/18(土)

5月の学習支援は、プログラミングを体験しました。講師は、子どものためのプログラミング教室 Coder Dojo(他)の皆さん。初めてマウスを触る子もいれば、プログラミング教室を何度か体験したことがある子もいましたが、どの子も楽しめるよう様々な活動が用意され、やってみたい活動を自分で選びながら体験することができました。

自分が作ったプログラムに従って、パソコンの画面やロボットが思い通りに動いた時の嬉しそうな顔！なかなかうまくいかず、修正を繰り返してやっとうまくできた時には飛び上がって喜ぶ姿も！

休憩時間も必要ないほど夢中になって取り組む姿や真剣な表情から、プログラミングの楽しさが伝わってきました。



うんがいい！朝市



3月の朝市。出店開始時間に雷雨が…。

出店は難しいかな…と思いつつ「どうしたい？」と子どもたちに投げかけたところ、「やりたい！」との返答！！ゲーム数を減らして出店しました。

寒くて冷たい雨も気にならないほど、ワニワニパニックで熱く盛り上がりました！



◆◆今後の予定◆◆

6/15 (土) 学習支援

6/27 (木) みんなの食堂(弁当配布) 17:30-

7/20 (土) 学習支援 14:30-16:30

7/25 (木) みんなの食堂(フードパントリー) 17:30-

8/17 (土) 学習支援 14:30-16:30

8/22 (木) みんなの食堂(弁当配布) 17:30-

9/21 (土) 学習支援

9/26 (木) みんなの食堂(フードパントリー) 17:30-

※7月・8月の学習支援は、午後の開催になります。

◆みんなの食堂

★時間…11月～3月 17:00～

4月～10月 17:30～

*無くなり次第終了

★場所…西深井福祉会館(西深井 313)

★無料(弁当配布の場合:大人 200円)

◆学習支援(宿題を終わらせようプロジェクト外)

★時間…9:30～11:30

★場所…学習塾アリス千葉塾(西深井 238-4)

★参加費無料・昼食つき

★前々日までに公式 LINE よりお申し込み下さい。